

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
宇佐市	下元重地区	令和2年3月24日	令和 年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積(農業委員会の地区データを活用)	45.4ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	23.6ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	0ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.9ha
(備考)	

2 対象地区の課題

下元重地区は、入作農家が多いのが現状である。今後、入作農家が農業を辞める時に、地域の担い手にどのように集積していくかが課題である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

集落の農地利用は基本的には、現在主に耕作している認定農業者個人に集約化していく予定であるが、下元重地区の担い手だけでは足りないため、近隣地区の担い手にも協力を得る。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向(5年後)		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	備考
認農法	A	WCS、SGS	7 ha	WCS、SGS	10 ha	経営面積は作業受託を記入
認農	B	水稲、WCS、大豆	6.9 ha	水稲、WCS、大豆	6.9 ha	
認農	C	水稲	0.3 ha	水稲	0.3 ha	
認農	D	水稲、麦、大豆	0.67 ha	水稲、麦、大豆	0.67 ha	
認農	E	水稲、麦、大豆	6 ha	水稲、麦、大豆	6 ha	
認農	F	WCS	7.3 ha	水稲、麦、大豆	7.3 ha	
認農	G	WCS	2.12 ha	WCS	3 ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	7人		30.29 ha		34.17 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向

現在、農地の貸付意向の土地については把握できていない。今後については、集落の集まり等の機会に定期的に地区の方に、農地の貸付意向の確認を行う。

農地中間管理機構の活用方針

将来の経営農地の集約化を目指し、利用権設定を行う際には、原則として、農地中間管理機構を活用していく。

基盤整備への取組方針

水路の老朽化により、水路改修を検討する必要がある。